

2025年度 すくわくプログラム実践記録

園名：おうち保育園えいふく町

保育理念	シチズンシップ保育5つの基本	保育者の意図的な関わり
「こどもたちが自ら参加し、貢献し、楽しむ力」を育む	1.感情を知る・感じる 2.やってみたいはチャンス！ 3.小さなことでも自分で決める 4.わたしはわたし、違うことを認め合う 5.対立は当たり前。話し合って解決する	①「知る・感じる」 ②「ゴールイメージを持つ」 ③ナビゲートする

テーマ (こどもたちの興味・関心を深めらるもの) 興味関心を深めるガイド	いろいろな感触
なぜそのテーマにしたか ＊知る・感じるを実施	異年齢、インクルーシブ保育を実施しています。こどももおとなもそれぞれみんな違って、誰もが感じることのできる手触り・肌触り。同じ素材の感触を、それぞれがどう感じるか。自分の気付きと、他者の反応から得る発見を通して、様々な学びが得られるという事、またお友達が大好きな当園の園児だからこそ、家庭ではなく集団でこそ得られる学びを得てもらいたいという願いからこのテーマを選びました。

【実践記録】

日付	2025/7/12
「問い」 (テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い) ＊シチズンシップ保育5つの基本を参考に	絵の具の感触を指や手で感じながら、自分のやりたいように思いっきり色を塗って表現してみよう
環境のデザイン ＊素材や使用する道具、環境設定を決める	指絵の具、水、スモック、机、机カバー、手拭き、台拭き

<p>探究活動</p> <p>＊シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<p>月齢にかかわらず、それぞれの楽しみ方ができるよう、シンプルに絵の具を塗りつけることが楽しめるようする。服や手の汚れが気にならないよう配慮することで、抵抗感を減らして楽しめるようにする。筆を使って塗る時との違いを、声かけなどで気付けるよう働きかける。</p>
<p>活動の様子（写真・映像）</p> <p>＊申請時必要となります</p>	 <p>大胆に感触を楽しむ児もいれば、気持ち悪いと感じる児もいた</p>
<p>振り返り</p> <p>＊保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする</p> <p>＊保護者等へ共有する</p> <p>＊振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<p>4月に実施した筆を使用したペインティングでは、絵の具が手につくことを嫌がる児も複数いたが、今回は感触を楽しみ積極的に活動する児が多くなった。手が汚れるのを嫌がる児には、ウェットティッシュや手拭きを用意しすぐに拭くことができると伝えた。保育者も一緒に楽しむことで、まずはやってみようと思えるよう働きかけた。</p> <p>こどもたちは「たのしい」「くすぐったい」「気持ち悪い」など感想を言いながら、汚れるのを気にせず楽しむ児、ちょっとだけ触って手を洗いたがる児などがいた。</p>

<p>日付</p>	<p>2025/5/1-5/29</p>
<p>「問い」 （テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い）</p> <p>＊シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>身近な土を触ろう、いろいろな土、砂、泥の感触を楽しもう</p>
<p>環境のデザイン</p> <p>＊素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<p>ばけつ、水、キネティックサンド、敷物、タオル、お砂場セット、みんなで育てている野菜のプランター</p>
<p>探究活動</p> <p>＊シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考</p>	<p>砂場の砂と、公園の土はちょっと違う。室内で遊べるキネティックサンドも、なんだかちょっと違う。水たまりのどろんこも元は土だったんだ。いろいろな土、砂、泥を触って、違いを楽しもう。</p>

に展開

活動の様子（写真・映像）

*申請時必要となります



園芸用の土。触ってはいけないものという認識があるのか、あまり積極的に触ろうとしない児が多かった



泥んこ遊び

	 <p data-bbox="895 629 1158 658">キネティックサンド</p>
<p>振り返り *保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする *保護者等へ共有する *振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす</p>	<p>手が汚れることを嫌がる児も、水たまりのどろんこは楽しいようで、最初は恐る恐るでもすぐにみんなで泥だらけになって遊んでいた。</p> <p>日向の砂場の砂は暖かくて、掘ると冷たい。プランターの土はちょっと濡れていて変なおい。室内用のキネティックサンドは濡れてる感じでちょっと重たい。</p> <p>本当は汚れるのが苦手だが、バケツやお砂場用のおもちゃがあると砂を触ることができる児もいた。</p> <p>砂を丸めたり型に入れたりするのは好きな児が多かったので、今後は抵抗感が少なそうな小麦粉粘土やスライムなどもどんどん活動に取り入れていきたい。</p>

<p>日付</p>	<p>2025/6/1-9/30</p>
<p>「問い」 (テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い) *シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	<p>水を触ろう。水の感触、触ったあとの心地よさ、ひんやりする感覚を知ろう。</p> <p>水は、お湯やシャワーや氷や泡や色水にも変身するよ。入れ物の形や硬さによって感触もかわるよ。</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<p>水、シャワー、バケツ、たらい、氷(豆腐パックなどの容器や袋で凍らせる)、タオル、ペットボトル、絵の具、水風船</p>
<p>探究活動 *シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<p>水が苦手な児も多いため、最初は抵抗感の少ない活動から始め、徐々に心地よさがわかるよう配慮する。</p> <p>積極的に水遊びがしたい児もあまり得意でない児も同時に楽しめるよう、どこまでやるかを自分で選択できるような環境設定をする。</p>

活動の様子（写真・映像）

*申請時必要となります



6月、最初はバケツの水から



7月、水風船



8月、得意な児はシャワーを楽しむ



ペットボトルで色水作り



9月、すっかり慣れて大胆に楽しむ児も



バケツを被ってシャワーを浴びると面白いと気付いた児たち



泡ハンドソープのふわふわ泡が冷たい水に浮かんでいる

振り返り

＊保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする
 ＊保護者等へ共有する
 ＊振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす

最初は水を触ろうとしない児も、お砂場の水遊びや水風船は楽しむことができた。
 最初からシャワーを浴びるのではなく、児が興味を持ちそうなものから導入し、4ヶ月にわたりさまざまなアプローチで水の感触を楽しめるようにした。
 直接水を触るだけではなく、水風船やペットボトル、ビニール袋など違う素材の容器に入れた時の感触の違いも楽しんだ。
 最後には全員が水を触るのが大好きになり、自分から遊びを拡げてバケツを被ってシャワーを浴びてみたり、自分に向けてシャワーをかけてみたりと、様々な感触を楽しんでいた。

日付

2026/2/9

「問い」

(テーマに関するこどもたちの考えや聞き出すための問い)

雪ってふわふわ？

<p>＊シチズンシップ保育5つの基本を参考に</p>	
<p>環境のデザイン ＊素材や使用する道具、環境設定を決める</p>	<p>ビニール袋、タオル</p>
<p>探究活動 ＊シチズンシップ保育5つの基本、ナビゲーションの関わりを参考に展開</p>	<p>当初の予定にはなかったが、雪がほどよく残っていたためあえて散歩に出かけ、雪遊びをした</p>
<p>活動の様子（写真・映像） ＊申請時必要となります</p>	<div data-bbox="555 674 879 1099" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="916 1070 1166 1104">ここはかちかちだ！</p> <div data-bbox="555 1144 879 1570" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="916 1541 1321 1574">ビニール袋に入れて触ってみる</p>

	 <p data-bbox="938 647 1145 680">踏むとザクザク</p>
<p data-bbox="204 712 323 745">振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="204 745 504 846">*保育者同士や、こどもたち同士で活動の振り返りをする <li data-bbox="204 846 504 880">*保護者等へ共有する <li data-bbox="204 880 504 1014">*振り返りは次の探究を更に深めるための新たな問いや環境のデザインへ活かす 	<p data-bbox="547 712 1377 880">前日に家庭でも雪を触った児も多かったが、時間がたった雪は硬いところと柔らかいところがあり、園児たちもそれに気づいて「カチカチの雪」「柔らかい雪」と違いを楽しんでいた。雪を踏む感触を楽しみ、足の感覚に集中して歩き回る姿が見られた。</p> <p data-bbox="547 880 1377 947">ビニール袋に入れて雪を園に持ち帰ることを楽しみにし、たくさん集めては外側から触っていた。</p> <p data-bbox="547 947 1377 1048">絵本で見るようなふわふわの綿のような雪だけではなく、カチカチの雪やザクザクの雪があることに気づき、体感できた。手が冷えるのも気にせずに楽しんでいた。</p>

【その他の活動】



4月 ペインティング



5月 スライム、まだ恐る恐る



6月もスライム、慣れてきて道具を使う児も



気持ちいい

7月 パラバルーンはひんやりシャリシャリして



8月 ボールプール



8月 紙粘土



8月 スイカ割りのスイカを触る



8月 収穫したなすとその他の野菜でスタンプ



9月 プールに滑り台でダイブ！



9月 スライムもどんどん慣れてきた



10月 プチプチとか...



たらいにボールを入れたり...



小麦粉粘土とか！



大きい木はゴツゴツかたい



落ち葉はふかふか



11月 落ち葉のシャワー！それー！



ふわふわだー



茶色だけ集めよう

緑の葉っぱと茶色い葉っぱは触った感じが違う。



ツリーに手で色をつけよう！



もう足でもやっちゃおう！気持ちいい！



12月 竹はツルツルで冷たいね



木の実や葉っぱはカサカサ



1月 木の実をすりつぶしてみよう



段ボールのソリ。枯れ葉はよく滑る！



この枯れ葉はガサガサだね！



紙と葉っぱはちょっと違うね



2月、遊びを通して様々な手触りを知っていく



小麦粉粘土、すべすべで気持ちいいー！



シャボン玉、ぱちん！